

それにくらべ、ぼくの家では両親がそろつていて、その上母が家庭にいてくれる。いつも家族四人の楽しい団らんが待っている。これが、どこの家でも見られるごく普通の生活だとぼくは思っていた。

知事賞入選作品

夏休みに入つて間もなく、東京から、六年生の幸喜君と、五年生になる妹の由美ちゃんが来た。幸喜君のお父さんは、ぼくの母の兄なので、ぼくたちは同じ学年なのに、弟のように小さく二年生の弟をいれてちょうどぼくたち

いやな気持ちに
父が留守の時な
するのだが、そ
しいと思う。
父を中心にして
幸喜君たちは一
うか。落語クラブ
という幸喜君は



兄弟そろって入選
左、弟の公君と右、友君

と答えたという。お母さんをかばつて助け合っているようすが、ぼくにはよくわかるような気がした。
「お父さん」
ここにいるときしかそう呼ぶことを考へると、とてもかわいそうだと思つた。
幸喜君たちには悪いがぼくはとても幸せだと思つた。時々、お父さんはのそばへ寄つてねだつていたのも、あまたのかつたからだろうか。よいよ帰る日がきたので、父は、ぼくたち四人を乗せて新潟駅へ向かつた。
発車時間が近づいてくると、一しょにいたはずの幸喜君の姿が急に見えなくなつた。みんなであわててさがすと、幸喜君は、ホームの端のガقبに、くも胸がつぽいに立っていた。ぱくとも顔が、引ひき留めた氣持ちで、「いつそのこと、転校すればいいのになあ」とさえ思つた。
ぼくの父は、泣いている幸喜君のそばへ寄り、「またおいでね」となとなくさぎめていた。
間もなく列車が動き出すと「ワゴン オクリー!」
と声の電報を残して、に来たお母さんと一緒に元気に帰つて行つた。楽しかったゴム鉄包のこと、想い出したのだろうか。
ぼくたちは、列車が見えなくなるまで手を振つた。
ぼくは、幸喜君兄妹を見て、かばい合い、助け合つて生活していく大切さを強く感じた。父のありがたさもよくわかつたし、一人一人が出てきるのだと思つた。そしてそれが明るい社会造りにもなるので

はないかと思っている。お父さんがいなくとも、お母さんを中心にながんばっている幸喜君の家のようなあなたかい家庭もあることを忘れてはならないと思っている。そして、仏壇の中のお父さんの写真を見て「オッス!!」と、手をあげていた幸喜君の姿も決して忘れてはならないと思っている。ぼくは、父をいつそう大切に、わがままを言わずに助け合って、今までよりもっとよい我が家にしたいと思っている。

料金は無料です。

國民年金保険料は
　保険料を掛け忘れていたため、各種年金を受けられない方がおられます。国民年金保険料は納期内に必ず納入致しましよう。

農協や他の金融機関から振替納入制度をご利用下さい。

16 ミリ映写機操作の資格を取りませんか
　団体活動強化のため、左記の要項により実施いたします。

受講希望者は教育委員会まで申し込み下さい。

期日　一月六日・七日・二日間
会場　黒崎町公民館

主催　教育委員会
主管　西蒲・燕市の視聴覚教育協議会

受講料　六〇〇円(テキスト代)
　　当日持参下さい。

携行品　筆記用具、昼食、受講料
募集定員　二十名
申込み　一月三十一日までに教育委員会へどうぞ

「職安」

適性検査サービスデー

新潟職安では、無料で適性検査を行っています。希望者は直接お出かけ下さい。

○とき　毎月第一、第四火曜日
○ところ　毎午後一時から
　　新潟職業安定所
　　(新潟市万代二丁目)
○検査内容　職業の適性、職業の興味など
○お問い合わせは、新潟(〇二五二)四〇一三一番

いとこのこと

昭和50年1月20日

広報くろさき 第68号

48年度町の家計簿



農業立場の新時代を迎えて

に、本町農業の前進のため論を尽し、みずからトラクターの機上の農業委員会委員としての農業を実践してまいりました。しかししながら真に農業者である皆様の利益代表機關としての農業に心を尽しました。残念ながらまだ道は遠きにちりと言わざるを得ません。

年を迎えて

一般会計の主な事業

事業名		総事業費
立 仏	小 建 設	事 業
高 校	用 地 買 収	費
町 道	整 備	事 業
寺 地	保 育 所 用 地	買 収 費
特 殊	排 水 事 業	負 担 金
消 防	庁 舎 敷 地	買 収 費
シードセンタ	ー設 置	補 助 金
役 場	庁 舎 便 所	水 洗 設 備 事 業
県 道	舗 装	負 担 金
失 業	対 策	事 業 費
卷 農	高 分 校 敷 地	買 収 費
山 田	小 プ レ パ ブ 校 舎	建 築 事 業
ライスセンタ	ーもみすり機	補 助 金
板 井	小 プ ール 更 衣 室	建 築 事 業
善 久	踏 切 警 報 機	負 担 金
そ の	他	
合	計	470,861

